

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 7 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 1 月 18 日 (2007.1.18)

【公表番号】 特表 2006-508616 (P2006-508616A)
 【公表日】 平成 18 年 3 月 9 日 (2006.3.9)
 【年通号数】 公開・登録公報 2006-010
 【出願番号】 特願 2004-557394 (P2004-557394)
 【国際特許分類】

H 0 4 L 12/28 (2006.01)

H 0 4 Q 7/36 (2006.01)

【F I】

H 0 4 L 12/28 3 0 0 B

H 0 4 B 7/26 1 0 4 A

【手続補正書】

【提出日】 平成 18 年 11 月 20 日 (2006.11.20)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

共通の無線伝送媒体を共用する複数の通信システムの間の干渉を低減する方法であって

、
 前記通信システムのうち第 1 の通信システムに関連する第 1 の通信標準に適合する 1 つまたは複数のメッセージを送信する ステップを含み、

前記 1 つまたは複数のメッセージが前記第 1 の通信標準に適合する 1 つまたは複数のノードに前記第 1 の通信システムの非衝突通信期間 (C F P) の存在を通知するように設計され、

前記第 1 の通信システムの C F P が前記第 1 の通信標準とは異なる第 2 の通信標準に適合する通信システムのうち第 2 の通信システムの C F P と重なる方法。

【請求項 2】

前記第 1 の通信システムの前記 C F P が前記第 2 の通信システムの C F P と共に前記第 2 の通信システムの後続のビーコン期間と重なる請求項 1 に記載の 方法。

【請求項 3】

前記 1 つまたは複数のメッセージによって前記第 1 の通信標準に適合する前記 1 つまたは複数のノードが前記第 2 の通信システムの衝突アクセス期間 (C A P) 中に前記共通の無線伝送媒体にアクセスできるようになり、

前記 1 つまたは複数のメッセージによって前記第 1 の通信標準に適合する前記 1 つまたは複数のノードが前記第 2 の通信システムの各 C F P 中に前記共通の無線伝送媒体にアクセスできなくなる請求項 1 に記載の 方法。

【請求項 4】

前記 1 つまたは複数のメッセージの送信 ステップが前記第 1 の通信標準に適合する前記 1 つまたは複数のノードに前記第 1 の通信システムの前記 C F P の開始を通知する前記第 1 の通信標準に適合する第 1 のメッセージを送信する ステップを含む請求項 1 に記載の 方法。

【請求項 5】

前記第 1 のメッセージが前記第 2 の通信システムの C A P の終了時に送信され、

前記第1のメッセージが前記第1の通信システムの前記C F Pの継続期間を識別し、
前記1つまたは複数のメッセージの送信ステップが前記第1の通信標準に適合する前記
1つまたは複数のノードに前記第1の通信システムの前記C F Pの終了を通知する前記第
1の通信標準に適合する第2のメッセージを送信するステップを含み、

前記第2のメッセージが前記第2の通信システムの後続のC A Pの開始時に送信され、
前記第2の通信システムの前記C F Pの終了後に前記第2の通信システムのビーコン・
フレームを送信するステップをさらに含み、

前記1つまたは複数のメッセージが前記共通の無線伝送媒体上で送信される請求項4に
記載の方法。

【請求項6】

前記共通の無線伝送媒体が無線チャネルであり、
前記第1の通信標準がIEEE 802.11であり、
前記第2の通信標準がIEEE 802.15.3であり、
前記第1と第2のメッセージがIEEE 802.11のアクセス・ポイントとIEEE
802.15.3のピコネット・コントローラの両方として機能するノードから送信
される請求項1に記載の方法。

【請求項7】

(a) 第1の通信標準に適合する第1の送受信機と、
(b) 前記第1の通信標準と異なる第2の通信標準に適合する第2の送受信機と、
(c) 前記第1および第2の送受信機の動作を調整するようになされた制御装置とを含
み、

前記第1の送受信機が前記第1の通信標準に適合する第1の通信システムの一部であり
、

前記第2の送受信機が前記第2の通信標準に適合する第2の通信システムの一部であり
、

前記第1および第2の通信システムが共通の無線伝送媒体を共用し、
前記第1の送受信機が前記第1の通信標準に適合する1つまたは複数のメッセージを送
信するようになされ、

前記1つまたは複数のメッセージが前記第1の通信標準に適合する1つまたは複数の他
ノードに前記第1の通信システムの非衝突通信期間(C F P)の存在を通知するように設
計され、

前記第1の通信システムのC F Pが前記第2の通信システムのC F Pと重なる組み合わ
せノード。

【請求項8】

共通の無線伝送媒体を共用する複数の通信システムの間の干渉を低減する方法であって
、

前記通信システムのうち第1の通信システムに関連する第1の通信標準に適合する1つ
または複数のメッセージを送信するステップを含み、

前記1つまたは複数のメッセージが前記第1の通信標準に適合する1つまたは複数のノ
ードに前記第1の通信システムの衝突アクセス期間(C A P)の存在を通知するように設
計され、

前記第1の通信システムのC A Pが前記第1の通信標準とは異なる第2の通信標準に適
合する通信システムのうち第2の通信システムのC A P内にある方法。

【請求項9】

前記第1の通信標準に適合する各ノードが前記第2の通信標準の前記C A P中にのみ前
記共通の無線伝送媒体へのアクセスを競うことができる請求項8に記載の方法。

【請求項10】

(a) 第1の通信標準に適合する第1の送受信機と、
(b) 前記第1の通信標準と異なる第2の通信標準に適合する第2の送受信機と、
(c) 前記第1および第2の送受信機の動作を調整するようになされた制御装置とを含

み、

前記第 1 の送受信機が前記第 1 の通信標準に適合する前記第 1 の通信システムの一部であり、

前記第 2 の送受信機が前記第 2 の通信標準に適合する第 2 の通信システムの一部であり

、

前記第 1 および第 2 の通信システムが共通の無線伝送媒体を共用し、

前記第 1 の送受信機が前記第 1 の通信標準に適合する 1 つまたは複数のメッセージを送信するようになされ、

前記 1 つまたは複数のメッセージが前記第 1 の通信標準に適合する 1 つまたは複数のノードに前記第 1 の通信システムの衝突アクセス期間 (C A P) の存在を通知するように設計され、

前記第 1 の通信システムの前記 C A P が前記第 1 の通信標準とは異なる第 2 の通信標準に適合する通信システムのうち第 2 の通信システムの C A P 内にある組合せノード。